

# 領主と寺社領の寄進

文化振興課市史編纂担当 松井直樹

室町時代、有力寺社は領主から寄進された土地を有していました。最も古い記録は今川義元が法光寺や正法寺に宛てた永禄元(1558)年の寄進状です。義元の支配力下になったことにより検地が行われ、新たに出てきた土地を示す「増分」や新規の徴収分である「船役」を安堵したことが書かれています。

永禄3年の桶狭間の戦いで義元が死去すると、家康が吉良荘へ侵出します。4年11月には饗庭安楽寺に、東条松平氏の後見である松井八右衛門忠次らが寺領を寄進。三河一向一揆後の7年4月には花岳寺に、武田氏の勢力を遠江国から一掃した天正9(1581)年には吉良荘西条内の康全寺などに、家康が「前々の如く」寺領を寄進しています。天正18年に家康が江戸へ移ると、幡豆郡は秀吉の蔵入地

に組み入れられます。土地の広狭を正す太閤検地が行われ、正法寺や宝珠院には西尾城に配された田中吉政の家臣の宮瀬九蔵・宮川文兵衛からの寄進状が残されています。一方、御劔八幡宮や鶴ヶ崎天満宮の社領は没収されたと伝えられています。

慶長8(1603)年に江戸幕府が開かれると、支配者が替わる折々に寄進・安堵されてきた寺社領は整理統一されます。9年には検地が行われ、市内で45寺と9社の朱印地が記されています。これ以降もそれぞれの領主が幕府に願い出た結果、秀忠の代には華藏寺へ、家光の代には伊文・御劔八幡宮、寺津八幡社、安泰寺へ朱印地が与えられました。そして、家綱の代からは、三代にわたって出された朱印状を將軍の代替わりごとに発給するようになりました。

# キッズアルバム



磯貝 芽ちゃん  
(下町)

平成23年6月生まれ  
わが家のかわいいおてんば娘♡素直にのびのびと大きくな～れ!



石川 晃聖くん  
(上道目記町)

平成22年12月生まれ  
やんちゃ坊主で泣き虫な晃聖♡元気いっぱい大きくなってね♡



栗原 拓弥くん  
(西幡豆町)

平成22年6月生まれ  
好奇心が旺盛過ぎちゃう拓弥♡すすく丈夫に育ってね♪



関口 望華ちゃん  
(徳次町)

平成22年6月生まれ  
外で遊ぶのが大好きな望華♡たくさん遊んで大きくなってね!



永井 大翔くん  
(徳次町)

平成22年12月生まれ  
妹と遊ぶのが大好きなヒロくん。これからずっと仲良くね♡



岩崎 由佳ちゃん  
(丁田町)

平成23年6月生まれ  
由佳がいると皆笑顔になるよ♡笑顔いっぱい、元気に育ってね♪



中根 健遥くん  
(羽塚町)

平成22年6月生まれ  
わんぱくでひょうきん者の健遥☆これからもたくさん笑わせてね♪



瀧田 泰志くん  
(大和田町)

平成23年6月生まれ  
わんぱく坊主なたいちゃん、いつもかわいい笑顔をありがとう♡

